

株式会社プロトコーポレーション
株主通信

株 主 ・ 投 資 家 の 皆 様 へ

第42期 中間

2019年4月1日～2019年9月30日

変化する時代を、
もっと楽しく



証券コード 4298

To Our Shareholders

株主・投資家の皆様へ



経営理念

情報を未来の知恵に変え
夢と感動 楽しい！で
社会に貢献することを
経営理念とする

ご挨拶

株主の皆様におかれましては平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。「株主通信(第42期中間)」をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

2019年3月期は自動車関連情報分野における新車・中古車・整備の各領域でのNo.1ポジション確立のため、取引社数の拡大およびサービスの拡充をしてまいりました。さらにガバナンス体制の強化や、労働環境の改善を推進した結果、2019年3月25日に東京証券取引所市場第一部へ市場変更をし、今期2019年9月3日には名古屋証券取引所市場第一部に新規上場を果たすことができました。

今期は「AIファースト」を経営方針に掲げ、AIを軸としたサービスプラットフォームの構築に事業展開をシフトさせるべく、様々な取組みを行っています。

その一つとして、7月に新車、中古車販売店および中古車買取店等で利用可能な自動車査定ツール「DataLine AI査定(データラインエーアイサテイ)」の提供を開始いたしました。「グーネット」等の自動車関連情報サービスの運営で長年にわたり構築してきたビッグデータを用いて人工知能(AI)を活用することで、自動算出価格の精度向上、操作性の向上を実現しました。このようなAIを活用したサービスの提供により、業界の活性化およびクライアントの更なる営業支援に注力してまいります。

今後、AIやIoT等のIT技術の進展による生活環境や価値観の変化に伴い、商品やサービスは次々と進化していくことが予想されます。当社においても自動車関連事業で蓄積した膨大なデータを活用し、新たな価値提供を実現するため、積極的に事業展開をしていく所存です。株主の皆様には今後より一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長

神谷健司

Financial Highlights

連結損益計算書

(単位:百万円)

	2019年3月期 第2四半期累計期間 2018年4月 1日から 2018年9月30日まで	2020年3月期 第2四半期累計期間 2019年4月 1日から 2019年9月30日まで
売上高	30,591	29,845
売上原価(※1)	18,956	17,721
売上総利益	11,635	12,123
販売費及び一般管理費	9,416	9,403
営業利益	2,218	2,719
経常利益	2,422	2,778
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 0	△ 15
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,515	3,178
1株当たり四半期純利益(円)(※2)	37.79	79.20

※1 返品調整引当金戻入・繰入額を加味した数値です。
※2 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

連結貸借対照表

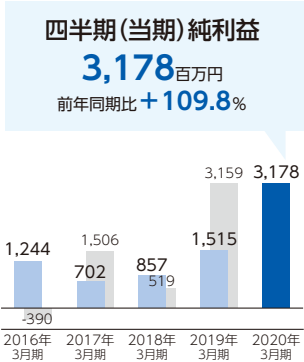
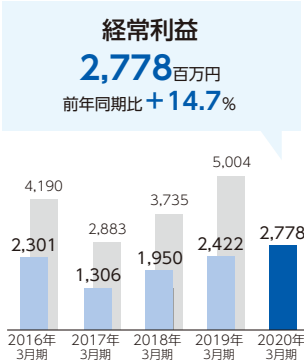
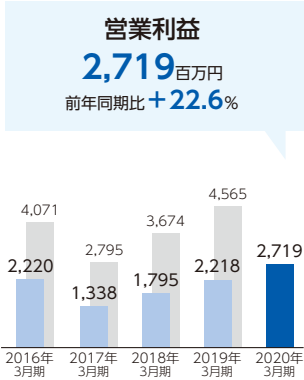
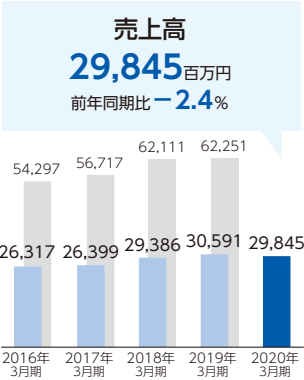
(単位:百万円)

	2019年3月期末 2019年3月31日現在	2020年3月期 第2四半期会計期間 2019年9月30日現在
流動資産	27,088	31,054
固定資産	16,791	16,711
流動負債	14,035	15,400
固定負債	1,814	1,684
純資産	28,029	30,681
総資産	43,879	47,766

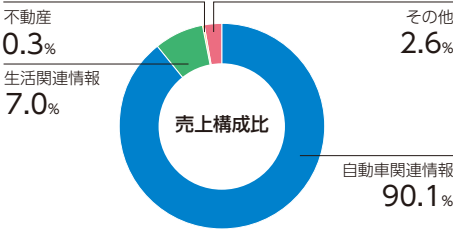
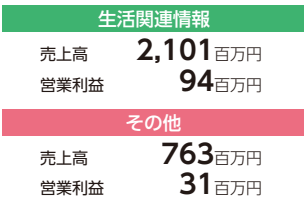
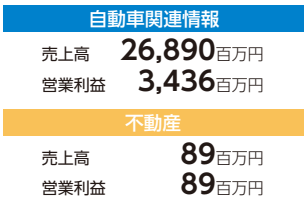
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2019年3月期 第2四半期累計期間 2018年4月 1日から 2018年9月30日まで	2020年3月期 第2四半期累計期間 2019年4月 1日から 2019年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,053	2,694
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 783	901
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,001	△ 664
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,006	18,289



セグメント別業績



PROTO News Clip

東京証券取引所市場第一部へ市場変更 名古屋証券取引所市場第一部へ新規上場

当社株式は、2019年3月25日をもって東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)から同取引所市場第一部に市場変更されました。また、2019年9月3日には名古屋証券取引所市場第一部に新規上場しております。

これもひとえに、株主の皆様、お客様、お取引先様をはじめとした多くの皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

今後も皆様方のご期待にお応えするべく、更なる企業価値の向上、経営基盤の強化に取り組み、事業の拡大に努めてまいります。引き続きご支援賜りますようお願いいたします。



各地域で「グーネット」のブランド強化

2019年8月10日より、伊原六花(いはらりっか)さんが出演する新CM「グーネット すグーに見つかる編」を全国で放送し、CM公開にあわせて全国12エリアでプロ野球球団等とコラボした「グーネット オンライン予約キャンペーン」を実施いたしました。グーネットでオンライン予約をして販売店へ来店された方およびグーネットオンライン予約で来店し成約された方を対象とした予約・成約特典を各地域で用意し、「グーネット」の認知向上を図りました。

今後も当社は様々なメディアと連携し、ユーザーと中古車情報との接点を増加させ需要喚起を図ることで、自動車業界の活性化に貢献してまいります。



オープンイノベーションスペース 「CODE BASE NAGOYA」開設

2019年5月10日に「名古屋をギガ・シティに」をコンセプトに「集まる・遊ぶ・繋がる・考える」をキーワードとし、最新のAI・ITテクノロジーを軸としたオープンイノベーションスペース「CODE BASE NAGOYA(コードベースナゴヤ)」を名古屋市中区新栄、プロト葵ビル6階に開設いたしました。

「CODE BASE NAGOYA」は、ベンチャー企業や学生が無料で利用できるオープンイノベーションスペースとなります。名古屋を中心に活動する企業と学生がインタラクティブに繋がれる場「CODE BASE NAGOYA」の運営を通じて、変化する社会をより楽しいものにするアイデアの創出や、学生等にイノベーション機会を提供することで地域社会への貢献を目指してまいります。



タイヤワールド館ベスト本社新物流センター竣工

当社のグループ会社である株式会社タイヤワールド館ベストは、2019年9月11日に本社新物流センターを竣工いたしました。

株式会社タイヤワールド館ベストは、宮城県内に7店舗を展開する自動車タイヤ・ホイールの販売、取付をおこなう専門店として、地域密着型の店舗運営をおこなっております。本社新物流センターは、タイヤ・ホイール販売およびタイヤ預かり保管サービスの拡大にともなう収納量の確保を目的として建設いたしました。1・2階合わせて約3,000坪のスペースに約15万本のタイヤが保管可能となり、東北最大級の物流センターとして稼働いたします。

今後は、本社新物流センターを拠点として、多様化するお客様のニーズに対応し、安心安全なカーライフをサポートしてまいります。



